

ASCB-EMBO Meeting Cell Bio 2024 への参加報告

理学研究科 理学専攻 生命理学領域

博士後期課程 1 年 野中一輝

【出張先】

アメリカ合衆国 カリフォルニア州 サンディエゴ市

【出張期間】

2024 年 12 月 13 日～19 日

【出張目的】

Cell Bio 2024 でポスター発表を行う。

【概要】

アメリカのカリフォルニア州サンディエゴ市で開催された Cell Bio 2024 に参加した。本学会はアメリカ細胞生物学会（ASCB）とヨーロッパ分子生物学機構（EMBO）が共催する大規模な国際学会である。私は Post-translational Modifications and Signaling Cascades のセッションで The pathways responsible for Hxk2 phosphorylation in metabolic switching というタイトルでポスター発表を行った。

【所感】

本学会は私が初めて参加した国際学会となった。そのため英語でのディスカッションに向けて渡米前からかなり緊張していた。学会に参加してはじめは細胞生物学にとどまらない様々なトピックと、世界各国から募られた参加者による大会のスケールに圧倒された。続いて発表を聞いてみると慣れない流ちょうな英語にほとんどついていけず、何度も聞き返してなんとか理解していった。自分の英語力で発表を行うことができるか不安になる中、私の発表の番がやってくると案の定、理解してもらえたか怪しい場面が頻繁に訪れた。しかしどの参加者も英語ができないからと言って議論を打ち切るのではなく、真剣に向き合ってくれた。言語の壁を越えて自身の研究を語りあう大会参加者の一部になれたことが嬉しかった。またこの経験は漠然と抱いていた他言語でのディスカッションへの苦手意識を軽減し、より英語力を磨いて有益な会話ができるようになりたいと思わせてくれた。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださった嘉村巧教授、旅費をはじめとして様々なサポートをしてくださりました学生支援室の皆様に厚く御礼申し上げます。



ホテルから見た学会会場